

モラージュ柏×マルバ 全校合同ミニサッカー大会



3・4年生



1・2年生



3・4年生 優勝 赤チーム



1・2年生 優勝 マニータ深川チーム

2021年2月14日(日)、先月に引き続き、モラージュ柏×マルバのマルバ全校合同ミニサッカー大会がモラージュ柏屋上のF Cモラージュ柏で行われた。回を重ね今回で第6回となる。

今回の大会はマルバ各校の参加希望選手とビジターの小学1・2年生25人と、3・4年生20人、全校45人が参加。

9時10分から開始された3・4年生4チーム(赤・黄・タイガー・エヌセレクト)は一試合8分、11時10分からの1・2年生

は5チーム(赤・黄・グリーン・ふたばS C・マニータ深川)では一試合6分。全試合予選リーグ総当たり戦後、決勝トーナメントで対戦。

最高気温17度、試合開始時8度。陽射しが眩しく感じられ、動くと汗ばむ陽気。

選手たちは率先して声出しをし、チーム内でのコミュニケーションを取りながら、プレッシャーに負けない素晴らしいプレーを魅せてくれた。

3・4年生決勝トーナメントでは、第一試合、第二試合共にPK戦に持ちこたされた。

1・2年生決勝では、マニータ深川チームとグリーンチームが対戦し、マニータ深川チームが1・0で勝利した。

入賞したチームへはメダルと賞品が贈られた。大会の記録写真展示は、モラージュ柏店内において、随時開催中。

お問い合わせは左記記事参照。

9時15分から試合を開始。5・6年生は5チーム(トマト・M T V・ジェファ・チョコレート・チビデカ)に分れ、予選をリーグ戦一試合8分1本で対戦。決勝トーナメントは前後半5分というルール。

11時10分から試合開始。5・6年生

1・2年生

コートに足を取られ滑る場面も。コロナ禍で試合もままならない中、熱心にボールを追う姿は、貴重な時間を有意義に使うという選手たちの気合いが感じられた。

5・6年生決勝では、ジェファチームとチョコレートチームが対戦、白熱した接戦の末、ジェファチームが優勝。1・2年生は総当たり戦の結果、青チームが優勝した。

入賞したチームへはメダルと賞品が贈られた。大会の記録写真展示は、モラージュ柏店内において、随時開催中。

お問い合わせは左記記事参照。

2021年1月24日(日)、モラージュ柏×マルバの第5回マルバ全校合同ミニサッカー大会がモラージュ柏屋上のF Cモラージュ柏で行われた。

今回の大会はマルバ各校の参加希望選手とビジターの小学1・2年生16人と、5・6年生23人が参加。

9時15分から試合を開始。5・6年生は5チーム(トマト・M T V・ジェファ・チョコレート・チビデカ)に分れ、予選をリーグ戦一試合8分1本で対戦。決勝トーナメントは前後半5分というルール。

11時10分から試合開始。5・6年生

1・2年生

コートに足を取られ滑る場面も。コロナ禍で試合もままならない中、熱心にボールを追う姿は、貴重な時間を有意義に使うという選手たちの気合いが感じられた。

入賞したチームへはメダルと賞品が贈られた。大会の記録写真展示は、モラージュ柏店内において、随時開催中。

モラージュ柏×マルバカップ ミニサッカー大会

2021年1月24日(日)、モラージュ柏×マルバの第5回マルバ全校合同ミニサッカー大会がモラージュ柏屋上のF Cモラージュ柏で行われた。

今回の大会はマルバ各校の参加希望選手とビジターの小学1・2年生16人と、5・6年生23人が参加。

9時15分から試合を開始。5・6年生は5チーム(トマト・M T V・ジェファ・チョコレート・チビデカ)に分れ、予選をリーグ戦一試合8分1本で対戦。決勝トーナメントは前後半5分というルール。

11時10分から試合開始。5・6年生

1・2年生

コートに足を取られ滑る場面も。コロナ禍で試合もままならない中、熱心にボールを追う姿は、貴重な時間を有意義に使うという選手たちの気合いが感じられた。

入賞したチームへはメダルと賞品が贈られた。大会の記録写真展示は、モラージュ柏店内において、随時開催中。

お問い合わせは左記記事参照。

お問い合わせは左記記事参照。

お問い合わせは左記記事参照。

赤ちゃんの健やかな成長を願う“サンガチ”

鹿児島島の離島『与論島』。美しい自然が残る島の風習を知る、そんな一枚をご紹介します。

アクセス
鹿児島
飛行機>鹿児島・奄美大島・沖縄から毎日就航。
フェリー>那覇からの上り便が1便、鹿児島からの下り便が1便、計2便毎日就航。

奄美大島
ここがヨロン島
沖縄本島

観光協会 ホームページ

旧暦3月3日はサンガチ(浜下り)という伝統行事の日だ。学校は昼から休みになり、臨時休業する店も多いなど島民行事の中ではかなりビッグな方である。

この日の主役は赤ちゃん。一年のうちに産まれた赤ちゃんに草鞋を履かせ、男児にはビク(籠)女児にはソイ(ザル)を持たせ、赤ちゃんの足を海水につけて無病息災を願う。

日中大きく潮が引くので、新生児がいない家庭も皆、海へ出て潮干狩りを楽しむ。出現したりーフの上を歩いて美味しいものが隠れていないか目を光らせるのだ。潮干狩りの他にも魚釣りやモリを片手に素潜りするなど、楽しみ方はそれぞれだ。獲った獲物はそのまま浜で調理したり、晩御飯のおかずになったりする。

夕方は親戚や知人の家に新生児がいればお祝いに駆けつけて宴会に参加するが、それがなくても明るいうちから飲んだり食べたり。私の中で“昼から酒が飲める日”として毎年楽しみな日である事はここだけの内緒だ。

余談だが秋に行われる町民体育大会(略して町体)の日も臨時休業する店が多い。町体とサンガチの日に旅行に来てしまったら、いっそのこと参加して楽しんでみるのも面白いかもしれない。

(写真・文 一般社団法人ヨロン島観光協会 小高)

ほのほのとした「島だより」今回で最終回となります。心癒されるお話し、ぜひ読んでみてください。(東葛まいにち編集部 大澤)

糰文化を 学んでみませんか?

糰は食材を美味しくし、たちの健康や美容に貢献
栄養や保存性を高め、私 してくれる素晴らしい働

代表理事の大瀬由生子先生と代表講師の川浦智子先生
=味噌づくり講座にて

現在オンラインで開催
糰のある暮らしを楽しむ
みたい方、料理のスキルアップを目指したい方、ぜひお気軽にお問い合わせ下さい。

きをする微生物。日本の国産です。
ずっと昔から日本人の暮らしに寄り添い、多くの恵みをもたらしてきてくれた糰をもっと身近に感じて頂けるよう、一般社団法人日本糰文化協会では、各種講座をご用意しております。(会場・T X 柏の葉キャンパス 駅徒歩3分)

お問い合わせは左記記事参照。